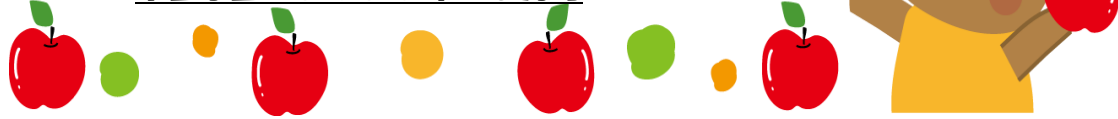


いんごだより

草笛学園 2023年 6月号



あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わりました。雨が降る日は、傘をさすのが楽しい子、長靴を履くのが楽しい子、レインコートを着るのが楽しい子…雨の日の中にも、子どもたちにとっては楽しい要素や発見がたくさんあるようです。この時期ならではの楽しみも大切にしていきたいものです。

“遊び”を通して生きる心



2歳までの子どもたちは、自分の内的な要求に心を動かされ、その満足を、親たちに達成してもらおうということに目が向いています。また、4歳を過ぎる頃になると、子どもたちは、最終的に、その時々行動の目標が達成されたかどうかということにも目を向けるようになっていきます。主観的と客観的といった違いはありますが、要するに、どちらの場合も結果というものに心が向いているのです。

その意味では、3歳児は、目標と結果の“はざま”といったところを、文字どおり、生々しく生きているとあってよいのではないのでしょうか。そうしたことが、最も如実に反映されているのが、3歳児の“遊び”における天才ぶりです。

考えてみれば、“はざま”を生きているということは、同時に心が自分の“内”と“外”に開かれていることを意味していますし、言い換えれば“現実”と“非現実”の両方に心が開かれているということも意味しています。実際、“遊び”というのは、“現実的”な原理に従っているかと言えば、必ずしもそうとは言えない、かといって“非現実的”な原理に従っているかと言えば、やはり、そうとは言いきれない、といったところに展開しているものです。

こうした点からすると、3歳児の“遊び”が、われわれの想像をはるかに越えて、次々と移り変わり、まるで魔術的な独創性とでも言えるような力で豊かにくり広げられていくというのも、よく分かるような話になってくるはずです。(中略)

実際に、子どもの“遊び”を“遊び”らしく“体験”できるよう条件を整えるということは、並大抵のことではありません。3歳児の心が、3歳児らしい心でいられるようあたたかく守ってやらなければいけませんし、“遊び”がちゃんと生き生きしているよう、しっかりと心の息吹きを注ぎこんでやらなければいけません。さらには、“現

実”でも“非現実”でもないところに展開する“遊び”の場面にちょうどふさわしい内容の題材を提供してやらなければなりません。

こうしたことは、結局のところ、先生であれ、親であれ、3歳児と関わる大人の側が、どれだけちゃんと“遊び”の心を自分自身の体験感覚として、生きたままそなえているかということにかかってくると言わざるをえないようです。

実際問題としては難しい課題になってしまいそうな感じもしますが、3歳児の心を考える時、彼らの体験を十分に促進するためには、われわれ大人の側が、どれだけ“生きた環境”になれるかが問われるとってまちがいなさそうです。

参考文献：中村きみ 編著『3歳児一園における3歳児保育のすべてー』
A decorative line of icons including raindrops and umbrellas in various colors (blue, purple, red, green, yellow).

～次回のいんご教室は～

いんご①・全

7月4日(火)

活動は『しっぽとり』をします

持ち物：水筒・着替え(必要であれば)

シューズ

8月1日(火)

活動は『みずあそび』をします

持ち物：水筒・水着・タオル・着替え

*保護者の方も動きやすい服装でお越し下さい。みずあそびの日には、帽子を持ってきて下さい

いんご②・全

7月19日(火)

活動は『みずあそび』をします

持ち物：水筒・水着・タオル・着替え

8月はありません

次は9月19日(火)です

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- お休みをされる場合は、学園までご連絡下さい
- **参加費は無料です。**(おたよりはホームページに記載され、通信費が必要ないため) 制作やクッキングの活動の時には、材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- 草笛学園遊戯室での活動となります。靴は下駄箱に入れて下さい
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えて下さい)
- きょうだい児の参加は、ご遠慮下さい。預け先がない場合は事前に職員までご相談下さい
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきて下さい

【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- 参加者や職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- 原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてききましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談下さい
- 入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- 園内の換気や消毒は引き続き継続します